

平成27年度（第33回）IT協会「IT賞」受賞

2016年2月4、5日に開催された公益社団法人企業情報化協会（IT協会）「IT戦略総合大会」の会期にて行われた平成27年度（第33回）IT賞表彰式において、ドコモのユーザによるユーザのためのクラウド支援ツール『ドコモ・クラウドパッケージ』が、IT賞（IT特別賞（セキュリティ貢献賞））を受賞しました。同賞は、IT協会が昭和58年3月に設定した「OA化・情報化優秀企業・機関・事業所等表彰制度」に則り、わが国の産業界において、“ITを活用した経営革新”に顕著な努力を払い優れた成果をあげたと認めうる企業・機関・事業所・部門あるいは個人に対して授与するものです。ドコモからは、平成23年度（第25回）に「東日本大震災時における復旧エリアマップの開発・公開」で「IT協会設立30周年記念特別賞（災害対策賞）」を受賞して以来の受賞となります。

ドコモでは、2012年よりパブリッククラウドであるAWS（Amazon Web Services）の利用を開始し、迅速かつ柔軟なサービス開発に取り組んできました。クラウドのセキュリティに対する不安を払拭するため、通信事業者としての高度なセキュリティ基準をどのように適用させるかが課題となり、これをクリアするた

めの種々の工夫や施策を実施しました。それらの取組みにより、社内でのクラウド利用に弾みがつき、現在では多数のサービスがクラウド化され投資コストを削減することができました。さらにこの経験を基に、「クラウド開発ガイドライン」などのドキュメントを含む「ドコモ・クラウドパッケージ」を制作して、顧客企業にノウハウとして提供できるようにし、顧客が安心してクラウドを利用できるよう支援するサービスを外販するに至りました。

このようなサービスはクラウド導入企業にとって、導入への合意形成が容易になるだけでなく、実際に不安なくスムーズにクラウド活用ができるようになるので、大いにメリットがあります。しかしながら他に存在しないサービスであり、この取組みによって企業がクラウドによるシステム開発を行う際の見えない障害を克服することが可能となりました。ノウハウをツール化することによってセキュリティを向上させるという点でユニークな取組みであり、今後のAWS以外のクラウドサービスへの拡張や技術の高度化への対応が期待されることが評価され本賞の受賞となりました。

